



# 介護職員初任者研修

## 介護職員初任者研修とは

介護職員初任者とは、高齢者や身体障害者など、介護を必要とする方々の日常生活をサポートするための、公的な資格（国内であればどこでも通用する資格）です。介護の仕事をしてみたい、という方は、まず介護職員初任者研修を取得することをお勧めします。

家庭で、ご家族の介護をするためのために、と学習を始める方も、大勢いらっしゃいます。

所定のカリキュラムを修了し、認定試験に合格すれば、修了証書が授与されます。

介護職員初任者研修修了後、3年の実務経験と併せて介護福祉士実務者研修を修了すると介護福祉士の受験資格が発生します。（平成28年1月実施の介護福祉士国家試験から実務者研修の修了が義務付けられます。）当学院では平成30年1月の介護福祉士国家試験に向けて現在、実務者研修講座を準備中です。

また、介護職員初任者研修後、5年の実務経験を有する方はケアマネジャーの受験資格を獲得できます。お仕事の経験に準じてステップアップすることができるようになっております。

### ◆ 介護職員初任者研修（通信コース）

受講資格	役割と活躍の場	研修時間			
		講義	実技	修了評価	合計時間
介護職員として働くことを希望する方です。年齢や国籍などに関わらず、特別な受講資格はありません。	介護現場の最前線で、介護の専門職として活躍します。 （特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などの介護保険施設や、デイサービスセンター、訪問介護事業所などの指定事業所や医療機関等）	24時間	66時間	6時間	96時間

※スクーリング96時間と通信形式学習40時間で計136時間で修了となります。

※スクーリング（通学）は16日間となっています。

※研修時間は当学院での履修時間になります。規定時間数は講義67時間、実技66時間、修了評価6時間で136時間です。